

## I 本校における「総合的な探究の時間」の目標

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解できるようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己の関わりから問いを見いだし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いの良さを生かしながら新たな価値を創造し、より良い社会を実現しようとする態度を養う。

## II 「総合的な探究の時間」で探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

1 知識及び技能	2 思考力、判断力、表現力等	3 学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決につながる調査方法を理解し、活用することができる。</li> <li>様々な調査方法を用いて、卒業後に生じる課題を解決する方法を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分にあった調査方法を選択することができる。</li> <li>集めた情報や気付いたことをまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己の課題を見つめ、課題解決に向けて進んで取り組もうとする。</li> </ul>

## III 「総合的な探究の時間」の単元計画の概要

目標を実現するにふさわしい探究課題	卒業後の課題解決方法の探究		
単元目標	自己を振り返り、将来起こり得る課題を検討し、課題解決のための様々な調査方法を知り、自己決定・自己選択をしながら調査を行うことにより、主体的に課題解決に取り組む姿勢を養う。		
月	主な内容	探究の過程	時数
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの学習を振り返り、自己の課題を整理する。</li> </ul>	課題の設定	4
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>先輩達の卒業後の困り事を調査し、自己と照らし合わせながら卒業後生じる可能性のある課題を整理する。</li> </ul>	情報の収集	3
	<ul style="list-style-type: none"> <li>課題解決につながる手法を体験する。</li> <li>調査方法を選択し、計画を立てる。</li> </ul>		
12～1	<ul style="list-style-type: none"> <li>書籍、インターネット、インタビューを通して、支援機関や利用手順について調べる。</li> <li>支援機関を訪問する。</li> </ul>	情報の収集	10
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>情報を整理する方法を体験する。成果物の情報を整理する。</li> </ul>	整理・分析	5
	<ul style="list-style-type: none"> <li>スライド、ポスターなどから表現方法を選択し、調査結果をまとめる。</li> </ul>	まとめ・表現	8
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>ミニ発表会を行う。</li> </ul>	まとめ・表現	1

- (注) 1 「目標を実現するにふさわしい探究課題」とは、目標の実現に向けて学校として設定し、生徒が探究に取り組むためのものであり、横断的・総合的な学習としての性格をもち、探究の見方・考え方を働かせて学習することがふさわしい、教育的に価値のある諸課題のこと。
- 2 「目標を実現するにふさわしい探究課題」の欄には、探究課題を簡潔に記載するとともに、次のア～オに該当するものの記号を入力すること。
- ア 国際理解、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する横断的・総合的な学習
- イ 地域や学校の特色に応じた課題
- ウ 生徒の興味・関心に基づく課題
- エ 職業や自己の進路に関する課題
- オ その他
- 3 「探究の過程」の欄には、「課題の設定」、「情報の収集」、「整理・分析」、「まとめ・表現」のいずれかを入力すること。

## I 学習の様子

## 【課題の設定】11月

- ・現場実習に関する資料の調査及び進路担当者へのインタビューの結果、卒業生の多くが様々な困難を感じていることが明らかになった。
- ・こうした調査の結果を基に、ワークシートを用いて自己の課題を整理した。
- ・各自がまとめたワークシートを交流し、就労後に起こり得るトラブルや困りごとについて検討するとともに、それらが生じた場合の対応を考えることを探究課題として設定した。

## 【情報の収集】12月

- ・インターネットでの調査を通して、卒業後には相談支援機関を活用することが重要になることに気付いた。
- ・紋別市内の相談支援事業所を見学した際、職員に自己の課題について質問し、その回答を記録した。また、その課題について模擬相談を行い、実際の相談を想定した体験を行った。

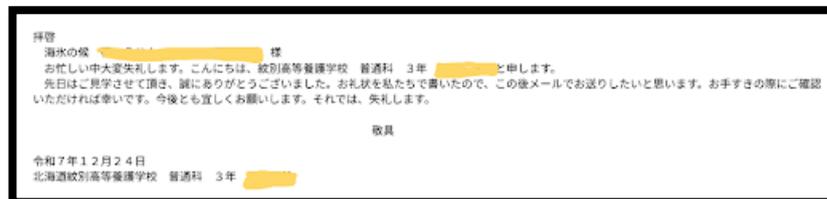


## 【整理・分析】12月

- ・相談支援事業所の職員からの回答内容について、「理解できたこと」、「初めて気付いたこと」、「さらに調べてみたいこと」に整理し、プリントにまとめた。

## 【まとめ・表現】12月

- ・プリントにまとめた内容を互いに発表し合い、各自の課題の解決に向けた方策を検討した。さらに、その内容を相談支援事業所の職員にメールで報告した。



生徒が生成AIを活用してメール文を作成

## II 探究活動の成果

- ・生徒が設定した自己の課題に対する解決の方策を見出したことにより、学習前後で考えに変化が生じたことを実感することができた。
- ・メールの文章として表現することで、新たな表現方法を身に付けることができた。
- ・地域の相談支援機関と連携したことで、その役割や機能に関する理解を深めることができた。

## III 今後に向けて

- ・短期間での学習となったため、年間指導計画の中で系統的に実施する必要がある。
- ・様々な調査方法の体験を通して、生徒自身でより効果的な方法を見出せるよう、単元の構成を工夫する必要がある。